

第10回地方独立行政法人神戸市民病院機構評価委員会 欠席委員の意見

<小項目評価に対するコメント>

- 評価そのものは、評価（案）のとおりで意見はない。
- 38ページの地域医療機関・保健機関・福祉機関との連携の推進について、とくに中央市民病院において地域医療支援病院を地域医療支援病院になり、紹介・逆紹介も努力しているが、こうした情報を常時公開し、全職員の意識を高めることが今後必要である。
- 61ページの臨床評価指標等について、退院サマリーの提出期限が守られていないとのことであるが、臨床研修指定病院としては、期限内提出を100%にするべきである。

<その他大項目評価、全体評価に向けてのコメント>

- 患者満足度調査を、例えば看護学生に配布から回収までさせるなど、第三者に依頼することで、より客観的な意見が出てくる。方法について今後考えてみてはどうか。
- 平均在院日数の短縮など、病院の機能を鑑みて、患者に理解してもらう必要がある。その際、ボランティアなどに病院の機能を紹介させる患者・家族の会を設けるのも一つの方法。患者の立場で病院を説明することで、受け入れられやすい面がある。
- 今後のガバナンスにおいては、BSCの4つの視点のいいところが活かされるよう、財務の面についても全職員で共有し、計画を策定する意識が無くてはならない。中期計画期間中にこうした意識改革がなされる取組を進めてはどうか。